



第39回 スマイル インタビュー

サークルを作られたきっかけなど教えてください。

ボランティアをしようと思いい、その中で人とコミュニケーションがとれる手話通訳を覚えたいと思い始めました。

主な活動を教えてください。

行事や講演会などの手話通訳、定期的に手話の勉強会や講習会などを行っています。障害のある方の行事にも参加して、一緒に楽しい時を過ごしたりしています。

講演会の依頼があつた時は、事前に原稿をいただき確認しています。講演と同時に通訳するので、精神的にも肉体的にも大変な疲れがあります。15分から20分くらいで交代しながら行っています。



令和5年開催の二十歳のつどい



通訳で気を付けていることは。

手話が正しく伝わっているかが一番気になります。話を聞きながら行うので音が聴こえにくかったりすると大変苦労します。

活動を行ってきて印象に残っていることを教えてください。

1990年代に聴こえに障がいのある人が主人公の連続ドラマが放映されたことで、ブームが起き手話を習いたいという人がたくさん来られ、このサントピアの部屋がいっぱいになりましたが、今では転出されたり高齢化などで少なくなりました。もう一度あのブームが起きないかと思っています。

以前は手話が奇異な目で見られたりすることもありましたが、今ではメディアでもよく目にしますし、ネットで習うことが出来ます。

コロナ禍で苦労されていませんか。

大変です。行事が出来なくなつたのと、会場が使えなくなったことで会を運営することがむずかしくなりました。また、ろうの方は表情や口元を読み取ったりするので、マスクがあると伝わりにくいです。



長い間の活動で楽しかったことを紹介してください。

手話が必要とされている方や、一緒に勉強している方との交流はとても楽しいです。単に通訳をするというだけでなくその方に寄り添って何を必要とされているのか、どうしてほしいのかを考えながら行うことは大変ですがやりがいがあります。
「ありがとう」と言ってもらえた時は本当にやってよかったと思います。

あ と が き

令和5年も2月となり、私たち議員の任期も半年余りとなりました。現状の人口減少・少子高齢化社会が続けば、益々の負担増や公共施設の削減など、厳しい決断を避けては通れません。民意の反映を使命とする議会が機能するためには、行政をチエックする一方で、市民に必要な政策を調査、研究、提案、実現する議会が求められています。

考え方の違う議員と互いの違いを乗り越え尊重しながら、対話と討議を重ね、歩み寄りながら、違いを埋め合い、合意形成を図り、市民にとっての解を導き出したいと議員一同模索し、日々研鑽しています。
「チーム議会」を求めて

山崎 年一

広報広聴特別委員

委員長
副委員長

- 小田上 尚典
- 寺岡 公章
- 藤川 和弘
- 中山 智一
- 山中 年一
- 日崎 雅子
- 山崎 雅子
- 細川 雅子

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。



発行・令和5年2月1日 大竹市議会

広島県大竹市小方一丁目11-1

TEL 0827-5912183

FAX 0827-577110